

バイオマス素材の耐震マット

耐用年数2倍10年

プロセブン

プロセブン(大阪市天王寺区、小玉誠志社長、06・6191・3810)は、震度7対応の耐震マットシリーズで、バイオマス製品推進協議会の認証

取得製品。企業のグリーン調達に対応すること環境ニーズを取り込む。

「プロセブンバイオマスマット」写真」を20日に発売する。日本バイオマス素材タイプのプロセブンバイオマス素材の含有率は20%。材料の配合や製造方法、分子構造を研究し、バイオマス素材の含有と耐震性能を両立した。耐用年数は非バイオマス素材の従来製品に比べ約2倍の8-10年。耐震荷重は50ミリ角製品の場合、同40%増の140キログラム。



同社ウェブサイトで販売価格は2200-3600円(消費税抜き)で、初年度1億円の販売を目指す。

一般的に、バイオマス素材を多く含む製品は劣化が進みやすく、耐震マットの性能では粘着力低下なども課題となる。同社は耐用年数や耐震荷重のほか、粘性なども非バイオマス素材の従来製品比で向上した。